

比内 中 学 区

1 はじめに

今年度は、「基礎学力の向上」「豊かな心の育成」「ふるさとキャリア教育の推進」の在り方を、小・中の連携を通して追究し、比内中学区の子どもの「社会をたくましく生き抜くための社会人基礎力・社会人実践力」を育てることをねらいとした。また、このねらいに基づき、「豊かな心と確かな学力を身に付け、ふるさとへの愛着を深め、ふるさとに根ざして社会をたくましく生き抜く子どもを育てる小・中連携はどうあればよいか。」というテーマを設定した。そして、比内中学区の各学校間の積極的な交流を深め、小・中9年間を見通した子どもの育成を目指して実践に取り組んだ。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
5月 1日	連携研究会事前打ち合わせ会	10月27日等	連携研究会事前打ち合わせ
6月 3日	第1回小・中連携研究会	11月19日	第2回小・中連携研究会
7月23日	小・中合同クリーンアップ	2月	中学校体験入学 入学説明会

3 活動の実際

(1) 第1回小・中連携研究会（会場：比内中）

- ① 授業参観（全学級）
- ② 中1生の状況報告（学習面や生活面について）
- ③ 全体会（会場校校長あいさつ、事業計画説明、学校評議員及び会員紹介）
- ④ 分科会（「基礎学力の向上」「豊かな心の育成」「ふるさとキャリア教育の推進」「比内地区の計画的・組織的な学校事務運営」の4分科会を設定した。）

(2) 比内中学区小・中合同クリーンアップ（場所：各町内）

7月23日（水）のラジオ体操終了後、前年度同様、小・中合同で各町内毎に、クリーンアップに取り組んだ。小学生のラジオ体操の活動集団に中学生が加わり、中学生がリーダーシップをとって、クリーンアップが進められた。活動により、小・中児童生徒の絆を深めるとともに、地域の美化を図ることができた。



【小・中合同クリーンアップ】

(3) 第2回小・中連携研究会（会場：東館小）

- ① 授業参観（全学級）
- ② 分科会（第1回目と同様のテーマ）
 - ・第1分科会（基礎学力の向上）

「授業のねらいの具体化と適切な言語活動の位置付け」に関して取り組み、子どもの意識、実態をアンケート調査で把握しながら、効果のあった内容について紹介し合った。子どもたちと行う課題設定の活動、見通しをもつ段階でのペア活動の取り入れ、話形、きまり、用語を身に付けさせることや、少人数学習が効果的であることが分かった。
 - ・第2分科会（豊かな心の育成）

「9時以降はノーメディア」そして「あいさつ運動」について協議した。「9時以降はノーメディア」の取組は、強調運動や集会等の設定により共有化が図られると共に、徐々に効果が表れた。「あいさつ運動」の取組は、来客へのあいさつ等に課題があり、継続指導の必要性を共通理解した。
 - ・第3分科会（ふるさとキャリア教育の推進）

子どもたちの「発信力」について課題意識をもちながら、学年毎にふるさとキャリア教育について実践したことをまとめ、紹介し合った。発信方法としては、作成したパンフレットの配布、コメント付きの写真の掲示、作成した新聞やポスターの配布や掲示、作成した個人・グループレポートのプレゼン等が紹介された。また、ひない商人祭り、きりたんぼ祭り、比内地区産業祭への出店の取組が紹介された。

4 おわりに

今年度は、大館市教育委員会が新たに設定した「第8次学力向上対策」（平成26～28年度）を受け、比内中学区小・中連携研究会のねらいやテーマを見直して臨んだ。これを受け1回目の分科会では小・中共通で発達段階に応じて実践する具体的な内容について協議し、2回目の分科会に向けて実践を積み重ね、2回目の分科会では成果や課題を話し合い、取組について検証した。また、2回目の分科会の充実化を目指して各分科会の司会者と事務局の事前打合せを実施した。比内中学区の小学校はほとんど単学級である。単学級の短所を補い、長所を一層伸ばすためにも、本研究会の意義は大変高く、一層充実化を図っていきたいと考えている。